

北栄 議会だより

大津青道愛好会員



特集 町民に答える議会 ————— 2

体育館が快適に ————— 4

町政ここを問う ————— 8

みんなでまちづくり ————— 14・15

北栄町議会

検索

<https://www.e-hokuei.net>

No.

79

令和8年8月

町民意見を起点とした政策への取り組み

町議会は、町民の意見を大切にします。

特に、「政策サイクル」(下図参照)と呼んでいる、町民意見を起点として政策立案・提言に結びつけていく取り組みを進めています。10月に第1回意見交換会(しゃべりっこクラブ)を行います。詳しくは14~15ページをご覧ください。

北栄町議会の政策サイクル

ここからスタート

調査研究・問題分析の手法

政策討論会等では、以下のような様々な手法で、課題解決に向けて、調査研究を行い、政策を練ります。



▲学識経験者と勉強会



▲先進地調査



▲委員会協議

町民との意見交換会など



町民意見を整理し、
町政の課題を設定

常任委員会による調査研究

町へ政策提言



町の事業執行

事業執行状況の監視・事業評価

次につなげます

町民への回答(※調査・研究の過程でも町民意見を拝聴)

北栄町議会では、議会基本条例に基づき、町民との意見交換会を開催し、いただいた意見等をもとに政策課題を定め、常任委員会において調査、研究を進め政策に反映させていきます。



町民意見を起点に
政策づくり

北栄町議会では、町民意見を起点とした取り組みを行っています。皆さまで意見伺い、課題を共有し、調査をし、研究を進めることで、予算審査、決算審査、一般質問などを通して、執行機関に対し、政策の内容調査、効果の調査を行ったり、政策提言をしています。今後も北栄町議会は、いただいた意見をもとに政策課題を見つけ、課題解決に取り組んでまいります。

要望の実現に向けて

高校生議会での提案で
実現した事例

過去にはブラックベリージャムを活用した給食メニューや、図書館横のスペースを活用した「ゆら里」などが実現しました。



多目的スペース「ゆら里」



意見交換会を開きます

町民に伝える議会へ

体育館が快適に



避難所としても快適に

質疑あれこれ

体育館空調整備

問 斉尾 智弘

①小学校を先に整備することは考えなかったのか。

②大栄側は学校のあり方を検討後とのことだが、建て替えもありうるか。

答 手嶋町長

①最初にモデルとなるところを作

ろうとして、北条小と北条中を選定した。

答 松本教育総務課長

②学校施設は80年使うという計画は変わらない。大栄中学校は耐力調査を実施後、結果によっては計画の見直しも必要になる。

消防団員

問 養原 美百合

※機能別団員を募集するとのことだが、基本団員を増やす施策は。

答 小澤総務課長

消防団の役員が自治会に出向いて勧誘している。自警団の方に機能別団員として入っていただき、基本団員になるきっかけにしたい。

※団員の能力や個人の事情に応じて、特定の活動に特化して参加する消防団員。

生成AIの導入

問 秋山 修

議員は使えるか。また、成果として各種計画づくりなどの外注費を削減できるか。

答 小澤総務課長

今回の予算は各課に1アカウン トを導入。議員の分は予算には入っていない。

答 岡本副町長

生成AIをパートナーとして職員がまとめ、チェックすることで外注費の削減もねらっている。

問 奥田 伸行

職員のスキルアップが必要であるが戦略は。

答 岡本副町長

1回だけの研修ではなく随時行う。また、良い使い方を共有するしくみが大切だと考える。

自治会総合交付金

問 油本 朋也

風車関係自治会が15万円、他の自治会10万円とあるが、算出根拠は。また、10年の間に金額の変更を検討する余地は。

答 手嶋町長

明確な算出根拠はない。検討する中で、社会通念的に1・5倍が妥当であると聞き設定した。債務負担行為ではないが、10年間変えるつもりはない。

問 井川 敦雄

風車関係自治会への15万円は負担に対して充分と考えているか。人口規模が違う各自治会に、一律交付とした理由は。

答 手嶋町長

事業収益の還元という考え方で整理した。

問 養原 美百合

①これまで風車の影響を受けてきた方への配慮は。
②集会所の修繕などの補助については。

答 手嶋町長

①そういう意味も含めて、関係自治会に加算して還元したい。

答 岩本環境エネルギー課長

②今後、風力発電コミュニティ助成事業を検討していく中で具体的にしていこう。

質疑あれこれ

トップアスリート 地域連携振興補助金

問 養原 美百合

起業版ふるさと納税を活用することだが、その狙いは。また、継続的な制度か。

答 渡辺生涯学習課長

北栄町の誇りを高めていただける者が支給の対象となる。補助金交付要綱をつくり、継続的なものとしてい。

システム整備後の運用経費

問 長谷川 昭二

国が進める地方公共団体の業務システムの統一・標準化にともなう維持管理の経費が増えているが、対応は。

答 小澤総務課長

今年度より3年間は経費増額分の2分の1の補助が受けられる。

風力発電事業会計

問 秋山 修

当初予算より期末残高が約9000万円多いが、その要因は。また、資産の中の工具や車両などは売却するのか。

答 岩本環境エネルギー課長

当初予算では1号機の撤去費用9000万円を企業会計の中で使う予定だったが、今回の補正では1億8000万円の基金を取り崩したため。残った工具や車両は役場で利用する。



激論は次ページ

賛否分かれた！結果どうなった？

○：賛成者（議＝議長は採決には加わりません。）

議案等		永田	中井	山下	中山	河本	井川	蓑原	奥田	秋山	油本	斉尾	長谷川		
件名		議案に対する賛否												賛成	議決結果
令和8年度（補正予算）	一般会計補正予算（第1号）歳入・歳出 2億4570万円	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	11	原案可決
	議案第44号北栄町一般会計補正予算（第1号）に対する附帯決議	○	○	○			議	○			○	○	○	7	原案可決
	介護保険事業特別会計補正予算（第1号）歳入・歳出 66万円	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	11	原案可決
	大栄歴史文化学習館特別会計補正予算（第1号）歳入・歳出 2826万円	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	11	原案可決
	風力発電事業会計補正予算（第1号）収益的支出 9100万円	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	11	原案可決
報告	令和7年度北栄町一般会計継続費繰越計算書について	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	11	原案可決
	令和7年度北栄町一般会計繰越明許費繰越計算書について	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	11	原案可決
	令和7年度北栄町大栄歴史文化学習館特別会計繰越明許費繰越計算書について	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	11	原案可決
	令和7年度北栄町水道事業会計予算繰越計算書について	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	11	原案可決
	令和7年度北栄町下水道事業会計予算繰越計算書について	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	11	原案可決
	令和7年度一般財団法人北栄スポーツクラブの経営状況について	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	11	原案可決
条例関係・その他	専決処分の承認を求めることについて（北栄町税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○		10	原案承認
	北栄町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	11	原案可決
	北栄町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	11	原案可決
	北栄町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	11	原案可決
	鳥取県行政不服審査会共同設置規約を変更する協議について	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	11	原案可決
	北栄町と鳥取県の間における予防接種健康被害調査委員会に係る事務の委託に関する規約を定める協議について	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	11	原案可決
	工事請負変更契約の締結について（青山剛昌ふるさと館新築工事（造成・外構））	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	11	原案可決
	動産の買入れについて	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	11	原案可決
	工事請負契約の締結について（青山剛昌ふるさと館新築工事（舗装））	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	11	原案可決
	工事請負契約の締結について（北栄町中央公民館大栄分館新築工事（木質化工事））	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	11	原案可決

※前田議長が欠席のため井川副議長が代行しました。

請願・陳情の結果		永田	中井	山下	中山	河本	井川	蓑原	奥田	秋山	油本	斉尾	長谷川		
件名		請願・陳情に対する賛否												賛成	議決結果
mRNAワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出を求める陳情														0	不採択
農家・生産者への所得補償制度の法制化を求める陳情			○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	10	採択
自衛隊員の政治的中立性の確保についての陳情		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	採択

激論！！ 賛否あり

自治会総合交付金に附帯決議

〈反対〉 奥田 伸行

3月議会で私の質問に、町長は自治会にも使えるように考えていると答弁。この度の補正予算での計上は町長の政治的判断と受け止める。

昨今の時代背景の中、1、2年後も分からないのに、現段階で10年後確実に執行するための措置など必要ない。その都度予算を計上し諮るべき。

また、自治会への地域振興策を検討したいと答弁もあり、附帯決議は必要ない。

〈反対〉 中山 功一

次期町長の判断まで制限すべきではないと考えるので同意できない。

必要性や平等性を考慮したとあるが、平等は全て正しいかは疑問。公平であることは必要だが、その判断は非常に曖昧なものであって、その時々その場の判断が必要となるので、あえて附帯決議が必要とは考えない。



〈賛成〉 油本 朋也

自治会総合交付金に関し、町長から退任後でも10年間は続けたいとの発言があった。その10年後の令和17年度までの財源確保を求める。

「(仮称)北条砂丘風力発電コミュニティ助成事業」は、各自治会の必要性の把握と平等性について、自治会の規模感を考慮し、要望の重要性・緊急性を精査した上で、公平性を持った分配を求める。

〈賛成〉 蓑原 美百合

風力発電施設の関係自治会の皆様が長年にわたり事業への理解と協力を続けてこられた。地域還元策は、関係自治会への配慮とともに、町内各自治会の実情にも目を向け、町民の理解と納得が得られる基準に基づく実施が重要。

農家への所得補償の法制化

〈反対〉 永田 恭彦

生産費と販売価格の差額を補てんする所得補償制度は、現行農政の方針である「農産物の合理的な価格形成により農家の所得を確保する仕組み」と相反するものであるため、現在法制化を進める必要は無い。

〈賛成〉 長谷川 昭二

農産物価格も生産者自ら決められないため、市場まかせでは維持できない。農産物の生産に必要なコスト（他産業並みの自家労賃を含む）を保障することは、農業者に再生産を保障し、意欲と誇りを取り戻すうえで決定的。

みなさまからの請願・陳情はこうなりました

請願・陳情件名及び提出者	担当委員会	委員会採決	委員会の意見
mRNAワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出を求める陳情 提出者：宇井淳	民生経済常任委員会	不採択	予防接種は任意であり、国に事業の中止を求めるものではない。
農家・生産者への所得補償制度の法制化を求める陳情 提出者：全日本農民組合鳥取県連合会 会長 鎌谷一也	民生経済常任委員会	採 択	農業所得の安定と食料安全保障の強化は必要であり、国に対し実効性のある制度創設を求める。
自衛隊員の政治的中立性の確保についての陳情 提出者：足羽佑太	総務教育常任委員会	採 択	自衛隊員の政治的中立性に疑義があるため。

町政

ここを問う

6月定例会では、10人の議員が一般質問を行いました。

ページ	質問者	質問事項	その他の質問
8	蓑原美百合	外出支援	熱中症対策
9	井川 敦雄	資材高騰と農業対策	
	油本 朋也	住宅取得支援補助金	
10	中井 宏衛	健康診査事業	
	永田 恭彦	北条砂丘地農業の将来	
11	長谷川昭二	学校給食費の無償化	倒木を防ぐ事前伐採
	中山 功一	交通安全	交通手段の確保、キャッシュレス決済
12	秋山 修	人口減少	
	斉尾 智弘	イラン情勢の影響	リトルベビー等の家族支援 生命（いのち）の安全教育
13	河本 文哉	稼ぐまちづくり	

【お知らせ】傍聴さ～ん いらっしゃい！
(令和8年9月定例会 8月31日～9月18日)＊日程は変更になる場合があります。最新の情報は
ホームページなどでご確認ください。誰もが
出やすく高齢化が進む中、既存の制度や資源
を有効活用し、誰もが外出しやすい環
境づくりについて伺う。① タクシー利用料助成券の相乗り利用
による負担軽減と交流促進は。② シニアクラブ送迎バスルートに買い
物できる場の追加は。③ 道の駅ほづじょうへの交通体系の整
備は。町長
既存制度で

利便性を検討

① タクシー利用料助成券は、発着地点
が同じ場合は相乗り利用が可能である。② シニアクラブ送迎バスへの買い物場
所の追加は現段階では困難だが、教育
委員会と利便性向上を検討する。③ 道の駅ほづじょうへのアクセスは、
交通体系全体との調整が必要であり慎重
な判断を要するが、電動モビリティ

実証実験の活用を検討していく。

みのらは みゆり
蓑原 美百合持続可能な
農業推進いがわ あつお
井川 敦雄中東情勢の緊迫化等による肥料・燃
料・包装資材の高騰や供給不安が懸念
される中、以下の点を伺う。

① 本町の農業に与える影響の分析は。

② 町独自の支援策は。

③ J A・県・国との危機管理体制の構
築は。④ 堆肥活用やスマート農業推進による
持続可能な農業への支援は。町長
実現を目指す① 農家の収益悪化や離農、不耕作地の
増加を懸念している。

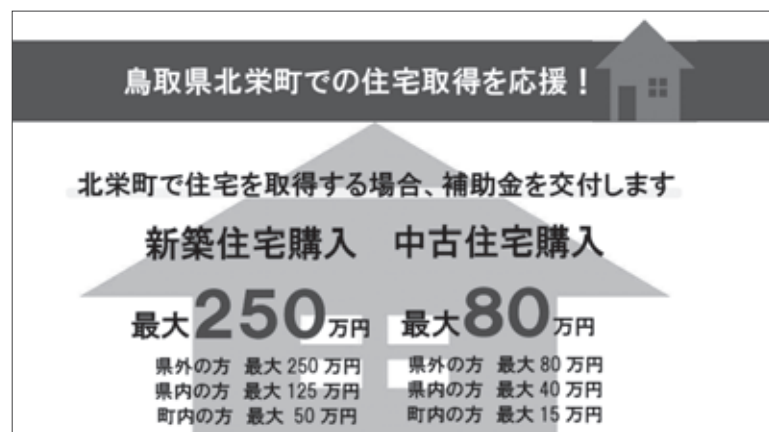
② 考えていない。

③ J Aや県と連携し、国へ広域的な支
援を求める。④ 堆肥活用への支援を検討するととも
に、スマート農業への補助を充実し、
省力化やコスト削減を通じて、持続可
能な農業の実現を目指している。

農業資材の確保を

交付要綱の
見直しを県外からの移住希望者の住宅取得に
最大250万円が交付される制度があ
る。しかし県中部でその条件が「住宅
を取得後に転入」は本町だけ。その結
果、昨年度は本町への移住者はゼロ。
一方、本町より金額は少ないが他市町
には成果が。町長が今年のテーマで「若者の移住
定住を全力サポート」を掲げるなら、
この要綱を見直すべきでは。町長
状況を

調査し検討

近隣市町の補助制度と比較しても、
自治体ごとに対象要件や補助額に多少
の差異があり県外からの移住者数の少
ない原因を単年では特定できない。補助金だけではなく、本町の魅力の
アピールや移住希望者の相談窓口の充
実を図り、近隣市町の住宅取得状況を調査しながら、この制度が原因で明
らかな差が出ていれば見直しを考え
る。ゆもと ともや
油本 朋也

受診率の向上を

なかい ひろえ
中井 宏衛

私たちが生活する上で健康であるということは重要かつ基本であり、それをチェックするのが健診である。

① 国民健康保険被保険者対象の特定健診の受診率向上は。

② 生活保護者の健診受診は。

③ 追加検査の心電図検査の費用は。

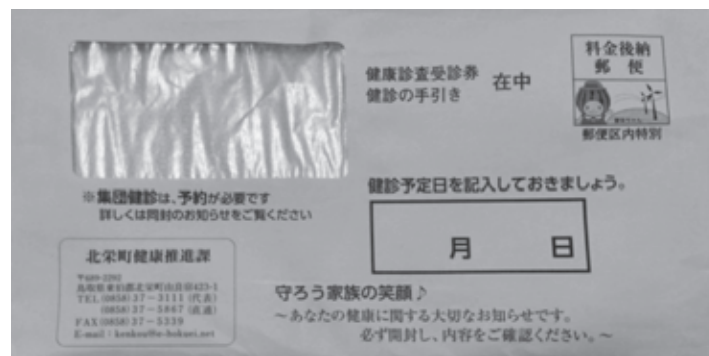
④ 国保データベースによる町の健康課題の対策と予防医学は。

町長 粘り強く 取り組む

① 受診率は50割未満で年々微減、目標の60割には遠い。現在の取り組みは24時間予約のWebシステム導入と健康ポイントラリー事業。今年度は「受診につながる啓発や通知作成」を実施。

② 基本健診とがん検診受診券を送付している。

③ 自己負担はない、



将来の健康のために

④ 講演会や保健指導を実施。予防重視で結果的に財政負担も軽減する。

砂丘地農業 どう考える

ながた やすひこ
永田 恭彦

北条町の特色の一つである北条砂丘地農業について、どのように次世代へつなげていくのか見解を伺う。

① 現況と課題、その原因の所感は。

② 課題解決のため、現在検討している、あるいは実施している対策は。

町長 町の宝を 次世代へ

① 農業者の減少、栽培面積の減少、灌がい施設の老朽化などにより、不耕作地の拡大、産地の維持が懸念される。

② 生産拡大、担い手確保、販路開拓などに取り組んでいる。また、各関係機関で「北条砂丘営農推進研究会」を組織し、灌がい施設の改修に向けた方策の検討を行っている。



ほうじょうのシンボル

保護者負担 なくして

はせがわ しょうじ
長谷川 昭二

給食費の保護者負担をなくし、教育の無償化をすすめるため、以下の点を伺う。

① 物価高騰は深刻さを増すと思われる。保護者負担とならないように、国へ交付金基準の見直し要請を。

② フリースクール利用児童への本町の対応は。

③ 中学校への早期の対象拡大をめざして、自治体独自の取り組みと国へ要請を。

実施。また、国へは全国町村会の要望等で行う。

④ 講演会や保健指導を実施。予防重視で結果的に財政負担も軽減する。

教育長 利用料 軽減で対応

① 現在、様々な理由で給食を食べられない児童は4名。給食の質や安定的な提供の維持のため、個別の給付等は考えていない。

② 不登校児童への対応は、フリースクール利用料軽減事業やスクールソーシャルワーカーの配置等で支援。



栄養満点の給食

歩道に 連続性を

なかやま こういち
中山 功一

4月から道路交通法が変わったことに関連し以下を伺う。

① 道路交通法改正についての町民への周知は。

② 歩道が連続しておらず、突然反対側に作られている場所がある。改善が必要では。

③ 歩行者や、自転車に対する今後の道路整備計画は。

路側帯を確保できるよう、道路側溝のふた掛けを継続して実施していく。

町長 必要性を 確認していく

① 町報4月号で周知を行った。交通安全期間を中心に法改正のポイントを周知し、啓発の徹底を図る。

② 通学路安全対策推進協議会の検討結果も参考にしながら、現状に照らし歩道の改善の可否を考える。

③ 自転車専用レーンは特に考えていない。限りある道路幅員の中で歩行者用



つながらない歩道

持続可能な まちづくり



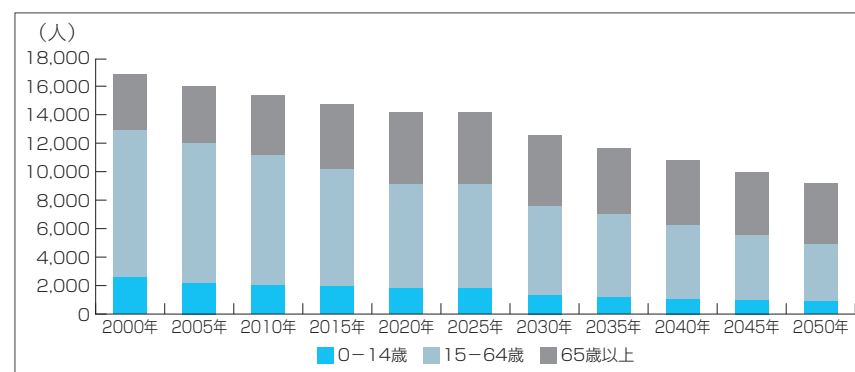
あきやま 秋山 修

総会を推進することにより、担い手不足への対応につなげる。

- ①人口実態と、人口ビジョンの目標や社会保障・人口問題研究所の推計との比較・検証は。また、今後の目標・推計は。
- ②自治会運営では少子高齢化が進み、役員のなり手不足、地域行事の縮小が起きている。防災や地域運営、地域包括ケアや重層支援を担い手不足のなかでどのように維持するか。

町長 人口減少を 前提

- ①移住・定住の効果が現れ、人口減少のペースが緩やかだったと分析。中期目標（2040年）として人口1万1200人の維持。
- ②毎年4月の自治会長会において、防災訓練や活性化策、役員選出方法、行事運営など多岐にわたり意見交換、情報共有を行い役立てている。支え愛連



北栄町の年齢階層別人口推移（実績と予想）

早急な 支援策を



さいお ともひろ 齊尾 智弘

イラン情勢の悪化により町内の工務店、自動車整備業者及び建設業者に、石油由来の原材料費の高騰、資材の供給不足など経済状況にも深刻な影響が出ている。

先の見えない災害級の現状において、町として可能な支援策は何か。事態を確に把握し早急に対策を講じるべきではないか。

町長 国県の 動向を注視

国際情勢に起因する経済変動は、国の動向や県の施策を慎重に見極める必要があり、現時点で町単独の支援策は考えていない。

今後は商工会や農業団体等と現状把握に努めながら、国県の経済対策を速やかに捉え、効果的な支援策を検討したい。



国はどう出る

投資の マッチングを



かわもと ふみや 河本 文哉

町長 商工会と 連携する

- ①町内の遊休地・空き店舗オーナー、起業家、地域への投資希望者の三者を登録し可視化する仕組みをつくっては。
- ②このマッチング機能の運営を、民間団体に委ねては。
- ③今後1年間で取り組む具体策と、10〜20年先を見据えた町長のビジョンは。

- ①由良宿地内の空き家調査をして、出店可能な物件情報として活用する。交流の場は検討していないが、具体的な事業が発生した際には、商工会と連携して対応する。
- ②商工会では、空き店舗の情報提供や、事業化を検討している事業者と関係者を引き合わせるなど、実務レベルでのマッチングが行われている。
- ③今後1年間は、宿泊施設の誘致、電動モビリティなど観光要素を充実するための新規創業を支援していく。中長期的には、新ふるさと館の開館を起爆剤に、町内の経済循環の仕組みをつくる。



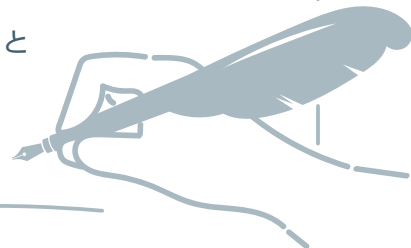
マッチングに成功した空き家

議会だよりの感想を お寄せ下さい

もっと読みやすい議会だよりにしたいと思います。
「ここが分かりにくい」「こんな特集が読みたい」など
感じたことひとことで大丈夫です。
あなたの声を聞かせてください。



◀こちらのQRコードを読みとっていただくと
アンケートフォームにアクセスできます。



みんなでまちづくり

わたしこう思う。

あんたどう思う？

◆会場とテーマ

テーマ 通学環境を考えよう

「危険な場所があるんだけど、通学路安全対策はどうなってる？」「1年生には歩く距離が長いと思うんだけど、スクールバスはうちの近くには来ないの？」「歩道の除雪って誰がしてくれるの？」など、身近なテーマで意見を交換したいと思います。

日時 10月13日(火)19時から

会場 中央公民館 大会議室



町内2会場で10月13日(火)と10月20日(火)に開催します。どなたでも参加できますので、お気軽にお越しください。

テーマ以外の内容で意見交換をしたい方は、開催日の前日までに町議会事務局までお知らせください。

あらかじめ意見交換したい内容をお持ちの方は、「氏名・住所・連絡先・参加会場」と併せて、議会事務局までお知らせください。

主催：北栄町議会
問合せ：北栄町議会事務局
TEL 0858-37-2445

テーマ 買い物環境を考えよう

「こんな店があったらいいな」「買い物に行きたいけど交通手段がなくて困ってる」「誰かこの店を継いでくれないかな」「新しい飲食店やってみてほしいな」など、買い物やお店について意見交換したいと思います。

日時 10月20日(火)19時から

会場 大栄農村環境改善センター
1階 会議室



◆当日の流れ

- ①議員より自己紹介
- ②テーマについて意見交換
- ③テーマ以外（町政全般）について意見交換

※時間は1時間半～2時間程度です。
途中参加・途中退席は自由です。
議員の班編成は裏表紙に掲載しています。

ほかにも議会ではいろいろなテーマで研究しています

財政健全化・地域づくり



学校教育・生涯学習



農業の担い手・農産物のブランド化



観光誘客・交流人口増加・コナンコンテンツ活用



道路整備・上下水道



公共施設



健康診断受診率向上・健康寿命延伸



意見交換会などの企画・報告会



あなたの思いを議会に 話しませんか

第1回

町民との
意見交換会
(しゃべりっこクラブ)

テーマ：通学環境を考えよう

日時：10月13日(火) 19時から 場所：中央公民館 大研修室



斉尾 智弘
(下種)



油本 朋也
(六尾)



秋山 修
(六尾)



井川 敦雄
(由良宿4区)



中山 功一
(さくら団地)



永田 恭彦
(東園)

テーマ：買い物環境を考えよう

日時：10月20日(火) 19時から 場所：大栄農村環境改善センター 1階 会議室



長谷川 昭二
(西高尾)



奥田 伸行
(六尾)



蓑原 美百合
(土下)



河本 文哉
(由良宿4区)



山下 正美
(妻波)



中井 宏衛
(土下)

私たちが皆さんの思いをお伺いします。
お気軽にご参加ください。
テーマの詳細はこの裏面(14・15ページ)に
掲載しています。



議長：前田 栄治
(国坂東)

編集後記

2月に高市政権が始まり、日経平均株価は7月には7万円を超える上昇を見せている。一方で私たち日本人は長期インフレにより生活苦が続いている。

世界は日本に①次世代環境技術の推進②少子高齢化における持続可能な社会構築のモデル化③外交的リーダーシップ等を期待しているようだ。

しかし、日本人が本当に世界に誇れるのは、平和主義であり協和性である。そして文化の継承の基となる「ものづくり」という伝統技術なのではなからうか。

平成の使い捨て思考により伝統文化の継承が減少傾向にある現在、AI等を駆使し文化のイノベーションが求められている。

日本文化から発せられる「和」の精神を守るため何をすべきか考えていきたい。(中井)

発行責任者

議長 前田 栄治

編集委員

委員長 河本 文哉

中山 功一

永田 恭彦

中井 宏衛

井川 敦雄

油本 朋也

長谷川 昭二

令和8年
8月27日発行
79号

発行／北栄町議会 編集／広報北栄常任委員会 印刷／勝美印刷
〒689-2292 鳥取県東伯郡北栄町由良宿4-23-1
電話：0858-37-2445 FAX：0858-37-5858